メモ

保証とアフターサービス

保証について

1．保証について
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。
詳細は弊社カタログをご参照ください。

2．保証書について
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3．補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1．明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目
- ランプが切れていませんか。
- 正常に点灯しますか。
- スイッチは正常に切り替りますか。
- 天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- 可動部は異常なく動作しますか。
- 異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

※不明な点および異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または、当社「CSセンター」までお申し出ください。

(2)清掃 器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1～2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木･竹･籐 布･和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかな布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグロープは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みがき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

2．異常時の処置
ランプ寿命(切れ)以外の異常は、工事店(購入先)にご相談ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談　CSセンター　(0570)003-937(ナビダイヤル)へご連絡ください。
受付時間(月～土曜)9：00～17：00　日曜･祝祭日は受付しておりません。

DAIKO 大光電機株式会社

取扱説明書

保存用

品　番	DP-37643

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ ●ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全上のご注意

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

禁止	本器の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。熱ストレスにより火災･感電･落下の原因となります。
禁止	周囲温度5～35℃、湿度40～85%の環境以外では使用しないでください。火災の原因となります。
禁止	本器にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。
分解禁止	本器の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。
厳守	お手入れの際は、必ず壁スイッチもしくはブレーカーを切ってから作業してください。シーンコントローラーのON-OFFスイッチで消灯状態にしても電源は切れいないため、感電の原因となります。
厳守	煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。
厳守	ランプ交換の際は、同じワット数のランプと交換してください。ランプの種類･ワット数を間違えて使用すると異常発熱･火災の原因となります。
厳守	照明器具を取り替える場合などは、必ず販売店か工事店にご相談してください。照明器具によっては、接続すると火災の原因となります。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。
注意	リモコンを落としたり、踏まないでください。故障の原因となります。
注意	照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。 点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

目次

■仕様・・・・・・・・・・・・・・・ P.2
■適合負荷・・・・・・・・・・・・・ P.2
■各部の名称とはたらき・・・・・・・ P.3
■電源の入切、シーン選択の方法について・・ P.4
■明るさ設定について・・・・・・・・ P.5
■個別の点灯について・・・・・・・・ P.6
■OFFタイマーについて・・・・・・・ P.7
■フェードタイムの設定について・・・ P.8
■リモコン送信機について・・・・・・ P.9･10
■照明器具のランプ交換について・・・ P.10
■故障かな？と思ったら・・・・・・・ P.11
■設定メモ・・・・・・・・・・・・・ P.12
■保証とアフターサービス・・・・・・ P.12

大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F
TEL：(06)6222－6240(代表)

仕様

●本器は屋内壁埋込専用です。
●当社指定器具と合わせて使用ください。
●本器にはプラスチックを使用しております。
取扱いは丁寧に行ってください。

品番	DP-37643
品名	シーンコントローラー
定格電圧	交流　100V
周波数	50/60Hz兼用
使用温度	5～35℃　40～85%RH
回路数	4回路　位相制御(4回路 内2回路 PWM制御回路)
記憶シーン数	4シーン
リモコン	付属
負荷容量(断熱施工なし)	750VA
負荷容量(断熱施工あり)	400VA
適合スイッチボックス	3個用金属製スイッチボックス深形(カバー付)JISC8340に適合

機能	
フェード時間	0～60秒の範囲で設定(1秒単位/初期設定3秒)
個別点灯	選択した回路を100%で点灯可能
OFFタイマー	10･30･60秒･10･30･60分から設定

適合負荷

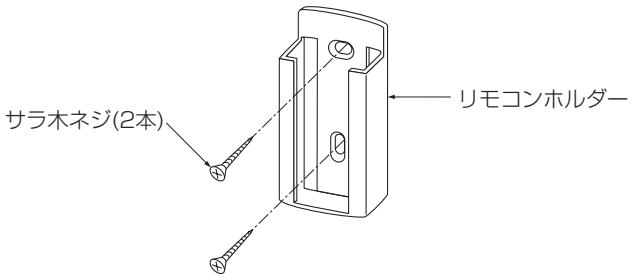
	LED調光	白熱灯調光	ON-OFF	蛍光灯調光(PWM))
LED(調光タイプ)	○	×	○	×
LED(非調光タイプ)	×	×	○	×
電球形蛍光灯	×	×	○	×
蛍光灯	×	×	○	×
蛍光灯(PWM 調光タイプ)	×	×	×	○
白熱灯	×	○	○	×

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
操作できない	スイッチが切れている。	スイッチを入れてください。
	ランプが切れている。	ランプを交換してください。
触ると熱い	表面温度は50℃ぐらいまで上がることがあります。これは正常です。	――
うなり音がする	本器はわずかにうなり音がします。これは正常です。	――
調光できない	負荷設定が間違っている。	照明器具によって設定が異なります。お買い上げの工事店などにお問い合わせください。
	調光できない照明器具を使用している。	適合負荷を参照して、照明器具を調光可能なタイプに変更する。
		そのまま『ON/OFF対応』で使用する。
あかりがちらつく	適合外の照明器具を使用している。	適合負荷を参照して、適合の照明器具に変更する。
リモコン操作ができない	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換する。(リモコン送信機について P.9参照)
	リモコンの電池が正しく入っていない。	リモコンの電池を正しく入れる。(リモコン送信機について P.9参照)
消灯しない	OFFタイマーが作動中になっている。	OFFタイマーを解除する。(OFFタイマーについて P.7参照)
	フェードタイムが長く設定されている。	フェードタイムを短く設定する。(フェードタイムの設定について P.8参照)

リモコン送信機について(2/2)

●リモコンホルダーを取付ける
リモコンホルダーをサラ木ネジ(2本)で壁面の補強材のある位置に取付けてください。



●リモコンの受信範囲
・リモコン送信部を受信部に向けて操作してください。
・受信距離は直線で約3mです。

⚠ 警 告

厳守
次のような場所では使わないでください。故障の原因となります。
●高温(常時35℃以上)なところ　●多湿(風呂場等)なところ
●水のかかるところ　●薬品、油、ホコリの多いところ

※受信部はリモコン信号(赤外線)を直接受信します、以下のような所で使用しますと、信号が遮断されたり受信できない場合があります。
・受信部の近くにガラスや壁の遮へい物があり、送信の影になるところ。
・ネットやガラスなど、光を減衰、または反射するものがあるところ。

照明器具のランプ交換について

●照明器具のランプ交換の際は、壁スイッチ又はブレーカーによって機械的に電源を切って行ってください。
※シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れていません。

⚠ 警 告

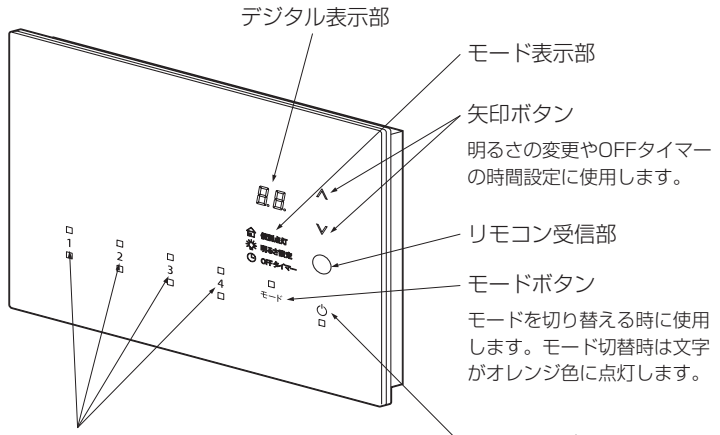
厳守
機械的に電源を切らない場合、感電の原因となります。

各部の名称とはたらき

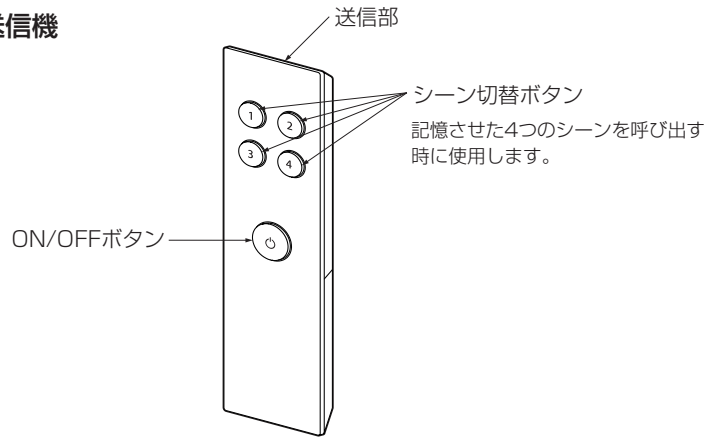
※下図は、簡略した図です。

シーンコントローラー

※ボタンはタッチ式なので、指で触れるだけで操作できます。

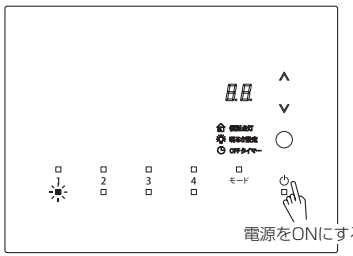


リモコン送信機



電源の入切、シーン選択の方法について

❶ 電源を入れる



① A. 『ON/OFF』ボタンをタッチしてください。

↓

電源が入り、前回使用したシーンが呼び出されます。

該当の『シーン·回路選択』ボタンが青色に点灯します。

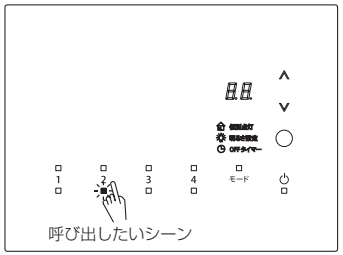
B. 『❷ **呼び出したいシーン(1～4)を押す**』の手順を行ってください。

↓

電源が入り、選択したシーンが呼び出されます。

該当の『シーン·回路選択』ボタンが青色に点灯します。

❷ 呼び出したいシーン(1～4)を選択する



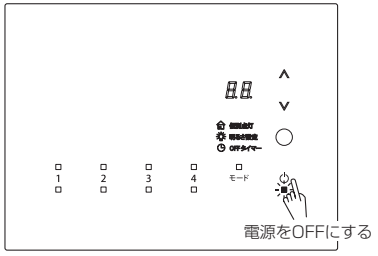
② シーン『1』·『2』·『3』·『4』を選択してください。

↓

シーンが切り替わります。

選択した回路の『シーン·回路選択』ボタンが青色に点灯します。

❸ 電源を切る



③ 『ON/OFF』ボタンをタッチしてください。

↓

電源が切れます。

『ON/OFF』ボタンが青色に点灯します。

※フェード中は『シーン·回路選択』ボタンと『ON/OFF』ボタンは両方点灯します。

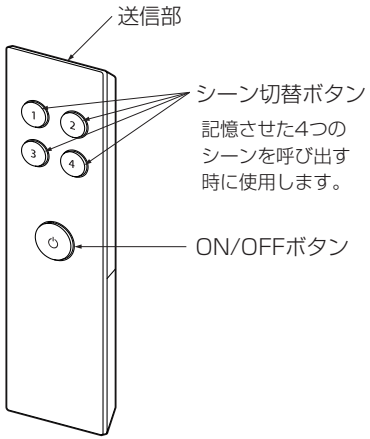
※OFFタイマーを設定している場合

『ON/OFF』ボタンはOFFタイマー設定時間が過ぎるまで青色に点滅します。
その間『シーン·回路選択』ボタンは青色に点灯しています。
OFFタイマー設定時間が過ぎると、3秒間のフェードの後消灯します。

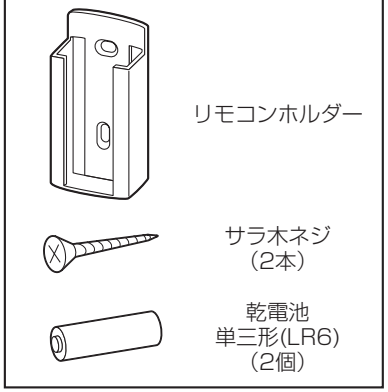
リモコン送信機について(1/2)

※下図は、簡略した図です。

リモコン送信機

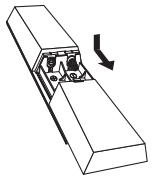


付属部品

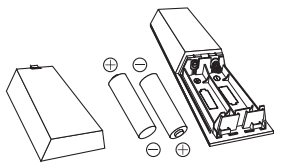


●リモコンの準備をする。
リモコンに乾電池を入れる。(※付属の乾電池は動作確認用です。)

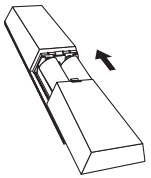
1 裏側のフタを軽く押しながら、スライドさせる。



2 電池は、単三形(LR6)2個を極性を合わせて入れる。



3 カチッと音がするまでフタを押し込む。



⚠ 警告

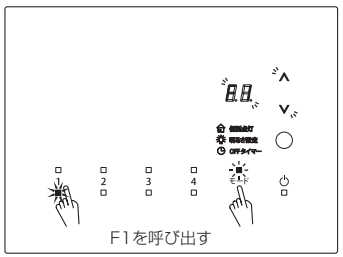
- ●電池の⊕⊖の向きを正しく確認し、接続してください。
- ●新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- ●種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- ●電池を加熱·分解·ショートさせないでください。
- ●電池を火の中に投入しないでください。
- ●充電式電池を使用しないでください。
- ●長期間ご使用にならないときは、電池を取出してください。

フェードタイムの設定について

●シーンの切替時間(フェードタイム)の設定をします。〔初期設定：3秒〕

●P.4の ❶ の操作を行い、電源を入れてから下記操作を行ってください。

❶ モード『フェードタイム設定』(F1)を呼び出す



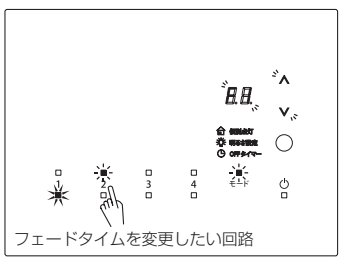
① 『1』ボタン+『モード』ボタンを3秒タッチしてください。

↓

モード『フェードタイム設定』が呼び出されます。

デジタル表示部に『F1』がオレンジ色に点灯し、『矢印』ボタンがオレンジ色に点灯します。
『シーン･回路選択』ボタンの『1』が青色に点滅します。

❷ フェードタイムを変更したいシーン(1～4)を選択する

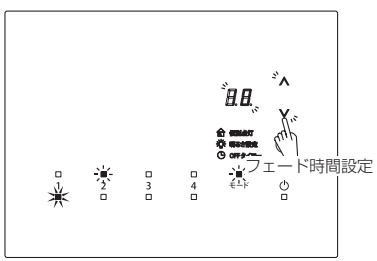


② シーン『1』･『2』･『3』･『4』を選択してください。

↓

選択した回路の『シーン･回路選択』ボタンがオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に現在設定中のフェードタイムが表示されます。

❸ フェードタイムを設定する/モードを終了する



③ 『矢印』ボタンでフェードタイムを変更(設定)してください。

↓

0～60秒の範囲で変更(設定)できます。

↓

④ 『モード』ボタンを1回タッチして終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)

↓

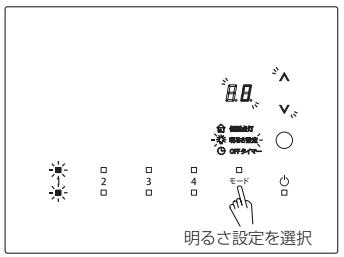
デジタル表示部と『矢印』ボタン、『モード』ボタンとモード表示部のオレンジ色が消灯します。

明るさ設定について

●各シーンの明るさを回路ごとに設定します。

●P.4の ❶ ❷ の操作を行い、明るさ設定したいシーンを呼び出してから下記操作を行ってください。

❶ モード『明るさ設定』を呼び出す



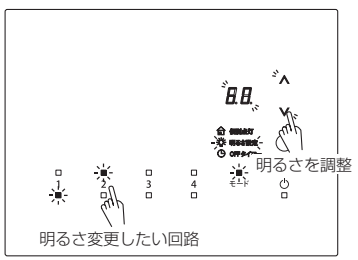
① 『モード』ボタンを2回タッチしてください。

↓

モード『明るさ設定』が呼び出されます。

モード表示部の『明るさ設定』がオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に現在の明るさが表示されます。
『矢印』ボタンがオレンジ色に点灯します。
『モード』ボタンがオレンジ色に点灯します。
該当の『シーン･回路選択』ボタンがオレンジ色に点灯します。

❷ 明るさを変更したい回路(1～4)を選択する



② 回路『1』･『2』･『3』･『4』を選択してください。

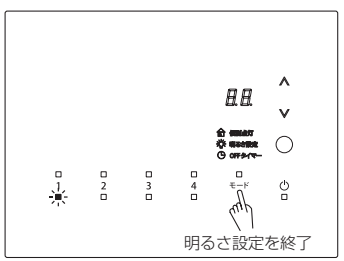
↓

選択した回路の『シーン･回路選択』ボタンがオレンジ色に点灯します。

③ 『矢印』ボタンで明るさを変更(設定)してください。
(明るさの変更範囲は各負荷の設定により異なります。)

※100%はFFと表示されます。

❸ 『明るさ設定』を終了する



④ 『モード』ボタンを2回タッチして終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)

↓

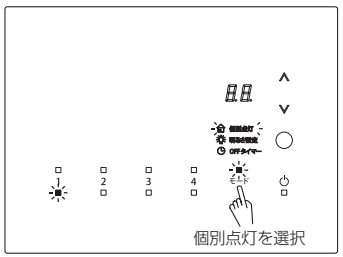
デジタル表示部と『矢印』ボタン、『モード』ボタンとモード表示部のオレンジ色が消灯します。

個別点灯について

●一時的に、照明器具別(回路ごと)の100%点灯をします。

●P.4の❶❷の操作を行い、個別点灯したいシーンを呼び出してから下記操作を行ってください。

❶ モード『個別点灯』を呼び出す



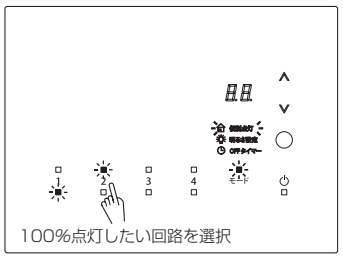
① 『モード』ボタンを1回タッチしてください。

↓

モード『個別点灯』が呼び出されます。

モード表示部の『個別点灯』がオレンジ色に点灯します。
『モード』ボタンがオレンジ色に点灯します。

❷ 100%点灯したい回路を選択する



② 回路『1』·『2』·『3』·『4』を選択してください。

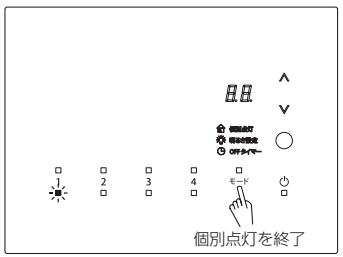
↓

選択された回路が100%点灯となります。

選択した回路の『シーン·回路選択』ボタンがオレンジ色に点灯します。
(選択した回路は、再度選択するとオレンジ色が消灯し設定していた明るさに戻ります。)

この状態で使用してください。
(自動終了しません。)

❸ 『個別点灯』を終了する



③ 『モード』ボタンを3回タッチして終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)

↓

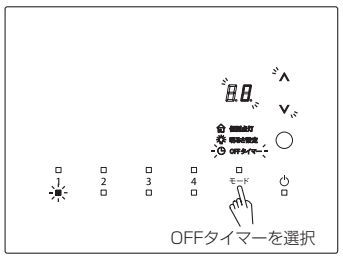
『モード』ボタンとモード表示部のオレンジ色が消灯します。

OFFタイマーについて

●OFFタイマーを設定すると、電源をOFFにした際、設定した時間が経過した後に消灯します。〔初期設定：0秒(OFFタイマーが設定されていない状態です。)〕

●P.4の❶の操作を行い、電源を入れてから下記操作を行ってください。

❶ モード『OFFタイマー』を呼び出す



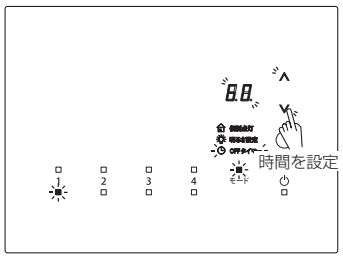
① 『モード』ボタンを3回タッチしてください。

↓

モード『OFFタイマー』が呼び出されます。

モード表示部の『OFFタイマー』がオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に現在の明るさが表示されます。
『矢印』ボタンがオレンジ色に点灯します。
『モード』ボタンがオレンジ色に点灯します。

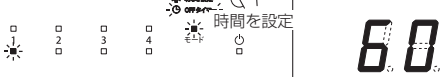
❷ 消灯までの時間を設定する



② 消灯までの時間を『矢印』ボタンで選択してください。

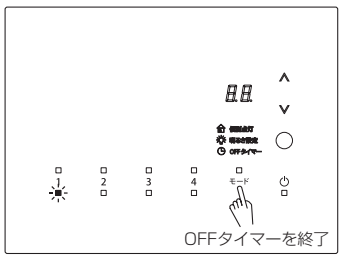
↓

0→10→30→60〔秒〕→10.→30.→60.〔分〕の順で切り替わります。



〔秒〕表示　　〔分〕表示

❸ 『OFFタイマー』を終了する



③ 『モード』ボタンを1回タッチして終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)

↓

デジタル表示部と『矢印』ボタン、『モード』ボタンとモード表示部のオレンジ色が消灯します。

※電源をOFFにした際、設定時間が経過している間、『ON/OFF』ボタンが青色に点滅します。

点滅中に再度『ON/OFF』ボタンをタッチすると、OFFタイマーを待たず強制終了します。

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置
本体LEDが点灯しない	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。
	電源線を間違って負荷端子または調光信号端子に接続している。	本器が壊れている可能性があります。 電源を切って確認してください。 壊れている場合は交換してください。
	負荷線を短絡する。	本器が壊れている可能性があります。 電源を切って確認してください。 壊れている場合は交換してください。
LEDが調光できない	調光モードに設定されていない。	LED調光モードに設定してください。 (負荷の設定について P.10～P.11参照)
LEDがちらつく	白熱灯調光モードに設定されている。	LED調光モードに設定してください。 (負荷の設定について P.10～P.11参照)
	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
白熱灯が調光できない	調光モードに設定されていない。	白熱灯調光モードに設定してください。 (負荷の設定について P.10～P.11参照)
白熱灯が暗くならない	LED調光モードに設定されている。	白熱灯調光モードに設定してください。 (負荷の設定について P.10～P.11参照)
蛍光灯が調光できない	調光可能な器具が接続されていない。	調光可能な器具に交換してください。
	蛍光灯調光モードに設定されていない。	蛍光灯調光(PWM)モードに設定してください。 (負荷の設定について P.10～P.11参照)
	調光信号線がつながれていない。	調光信号線を見直してください。
	1･2回路に接続されている。	3･4回路に接続してください。
蛍光灯がちらつく	適合していない負荷が接続されている。	適合照明器具に交換してください。
あかりがちらつく	電源が単相3線の場合で消費電力が1kw以上の機器がある。	その機器とは電源の相を分けてください。

DAIKO 大光電機株式会社

施工説明書

保存用

品　番	DP-37643

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

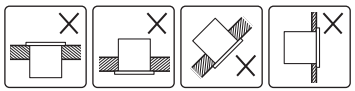
工事店様へ
- ●施工前にこの説明書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ●この説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意

⚠ 警告

取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。

厳守
本器は壁埋込専用器具です。指定場所以外には取付けないでください。異常発熱･火災･落下の原因となります。



厳守
本器本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災･感電･落下の原因となります。

禁止
断熱材を本器に直接かぶせた施工はしないでください。火災･感電の原因になります。
断熱材を使用する場合は必ず金属ボックスを使用してください。

禁止
周囲温度5～35℃、湿度40～85%の環境以外では使用しないでください。火災の原因となります。

禁止
本器の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災･感電･落下の原因となります。

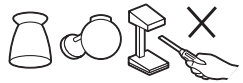
禁止
本器にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災･感電･落下の原因となります。

禁止
屋内配線の電源･ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材･ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災･感電の原因となります。

禁止
適合負荷切替えは負荷に合わせて、正しく設定してください。火災･感電の原因となります。

禁止
シーンコントローラーの施工説明書にしたがい確実に行ってください。火災･感電の原因となります。

分解禁止
器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災･感電･落下･転倒等の原因となります。



厳守
電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災･感電の原因となります。

厳守
適合負荷を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用してください。火災の原因となります。

厳守
説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏のストリップゲージにあわせてむき、電源穴に奥まで差し込んでください。指定外電線の使用や不充分な結線および電線の先が曲がっている場合は、異常発熱、火災の原因となります。

厳守
お手入れの際は、必ず壁スイッチもしくはブレーカーを切ってから作業してください。シーンコントローラーのON/OFFボタンで消灯状態にしても電源は切れいないため、感電の原因となります。

厳守
煙･臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災･感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。

厳守
電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

注意
照明器具の取り替え時期の目安は、通常の使用状態(周囲温度30℃、一日10時間点灯)において、約8～10年です。各種部品の劣化も進みますので、交換をおすすめします。
点検は、本説明書に従ってお願いします。(3～5年に1度は有資格者の点検をおすすめします。)

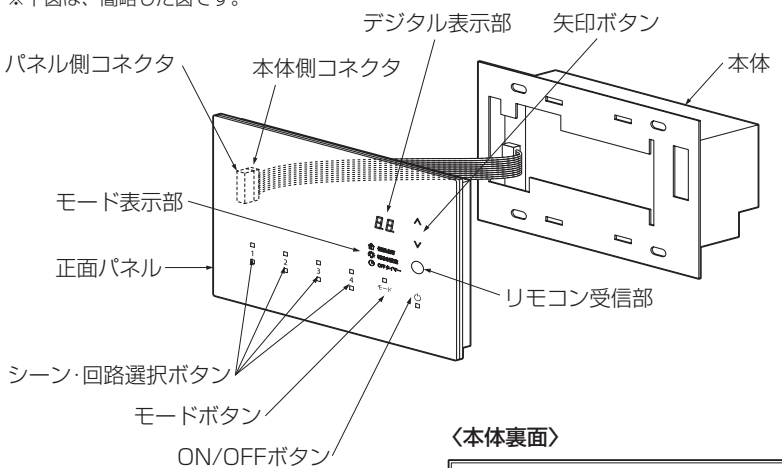
大光電機株式会社
〒541－0043　大阪市中央区高麗橋3－2－7　高麗橋ビル6F
TEL：(06)6222－6240(代表)

目次

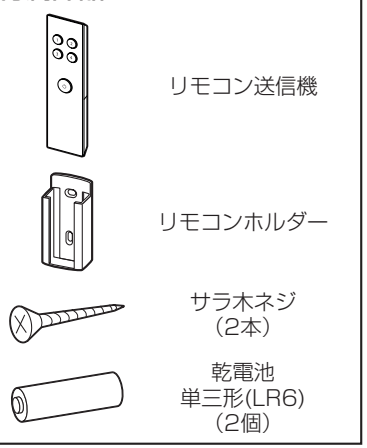
■各部の名称・・・・・・・・・・・・ P.2
■システム図・・・・・・・・・・・・ P.3
■施工前の確認・・・・・・・・・・・ P.3
■施工上に関するお知らせ・・・・・・ P.4
■適合負荷・・・・・・・・・・・・・ P.5
■結線図・・・・・・・・・・・・・・ P.6
■施工手順・・・・・・・・・・・・・ P.7･8･9
■負荷の設定について・・・・・・・・ P.10･11
■点灯確認・・・・・・・・・・・・・ P.11
■故障かな？と思ったら・・・・・・・ P.12

各部の名称

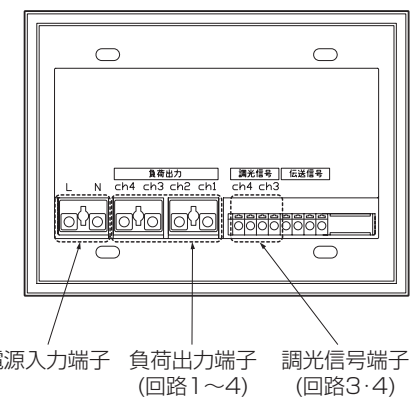
※下図は、簡略した図です。



付属部品

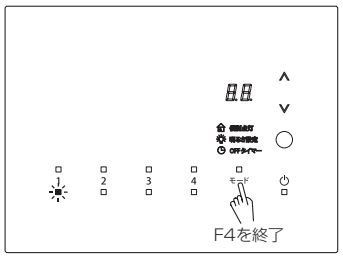


〈本体裏面〉



負荷の設定について(2/2)

❸ 負荷設定モードを終了する



④『モード』ボタンを1回タッチして終了してください。
(又は、30秒経過すると自動終了し確定します。)

↓

デジタル表示部と『矢印』ボタン、『モード』ボタンとモード表示部のオレンジ色が消灯します。

点灯確認

●電源を入れ、1回路ごとに照明器具の点灯が操作できることを確認してください。

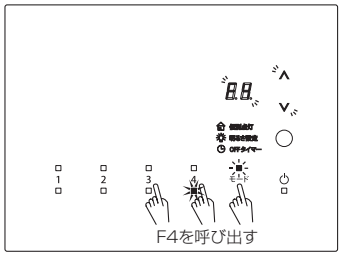
※操作方法は付属の取扱説明書を参照してください。

負荷の設定について(1/2)

●各回路ごとの負荷の設定を行います。〔初期設定：L1〕

●ON/OFFボタンをタッチして、電源を入れてから下記操作を行ってください。

❶ モード『負荷設定』(F4)を呼び出す



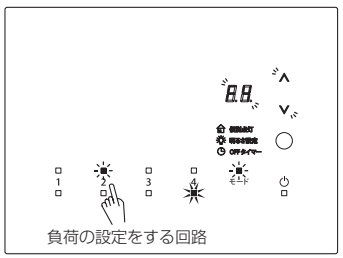
① 『3』·『4』ボタン+『モード』ボタンを3秒タッチしてください。

↓

モード『負荷の設定』が呼び出されます。

デジタル表示部に『F4』がオレンジ色に点灯し、『シーン·回路選択』ボタンの『4』が青色に点滅します。

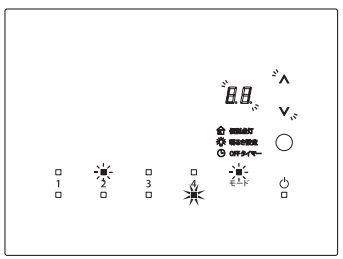
❷ 回路ごとに負荷を選択する



② 回路『1』·『2』·『3』·『4』を選択してください。

↓

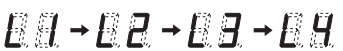
選択した回路の『シーン·回路選択』ボタンがオレンジ色に点灯します。
デジタル表示部に選択した回路の現在の負荷が表示されます。
『矢印』ボタンがオレンジ色に点灯します。



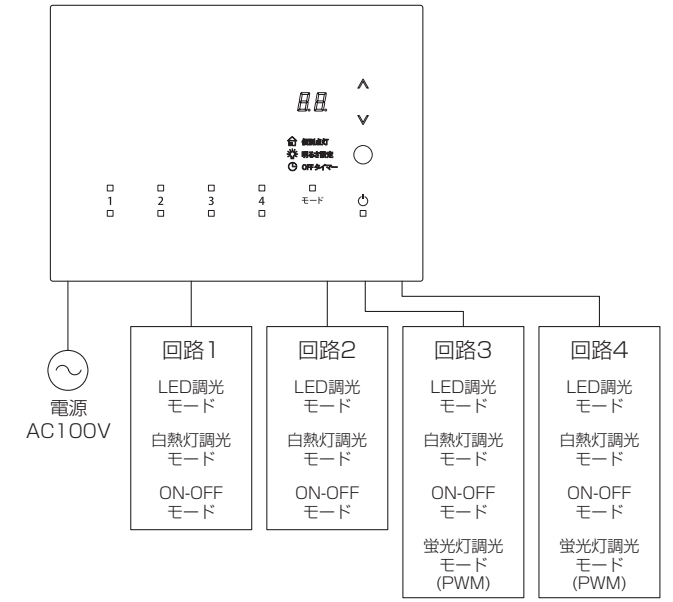
③ 負荷を『矢印』ボタンで選択してください。

L1　LED調光モード(20～100%)
L2　白熱灯調光モード(0～100%)
L3　ON-OFFモード(ON-OFF)
L4　蛍光灯調光モード(PWM) ※回路3·4のみ

L1→L2→L3→L4の順で切り替わります。



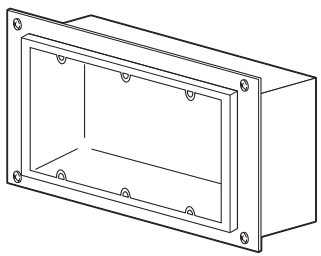
システム図



施工前の確認

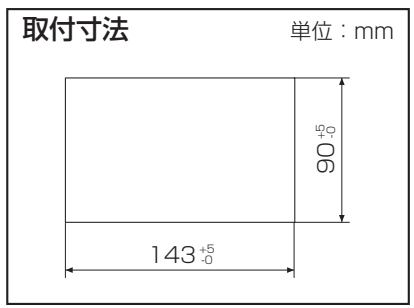
●本器の取付けにはスイッチボックス(市販品)を使用してください。

※浅形、樹脂製などのスイッチボックスは使用できません。



3個用金属スイッチボックス深形
(カバー付 JISC8340)

取付寸法　単位：mm



施工上に関するお知らせ

●負荷出力は決して短絡させないでください。本器が破壊します。

●電源線、負荷線、信号線を間違えないようにしてください。
本器、照明器具が故障する可能性があります。

●本器は単相100V専用です。

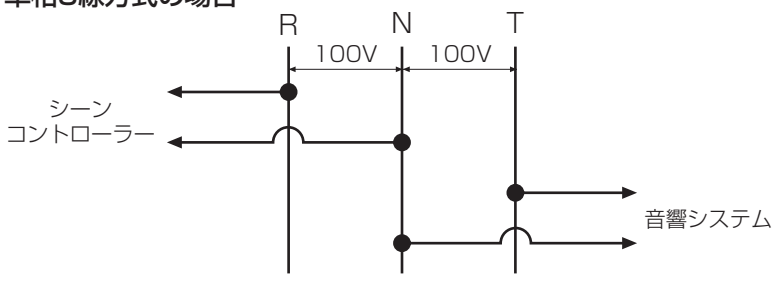
●本器には雑音防止装置が内蔵してありますが、ラジオや音響システムに雑音障害を及ぼす場合がありますので、下記の対策を実施してください。

※シーンコントローラーと音響システムは別の電源にしてください。又は電源を別相にしてください。

※シーンコントローラーと音響システムやアンテナ、配線、アース線とは1m以上離してください。

※音響システムはアースを確実にとってください。

単相3線方式の場合



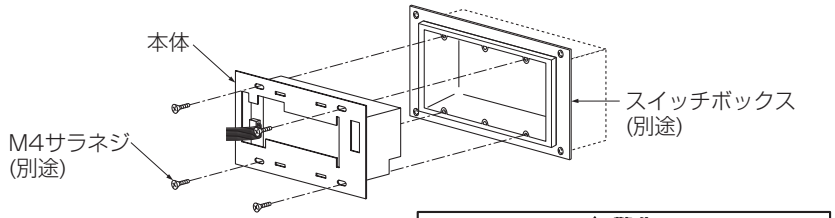
●電源が単相3線式の場合で、消費電力が1kw以上の機器がある場合は、その機器とは電源を別相にしてください。
電源波形にひずみが生じ照明がちらつく場合があります。

施工手順(3/3)

❺ 正面パネルを取外す

●本体をスイッチボックスに合わせて、M4サラネジ(4本)で確実に取付けてください。

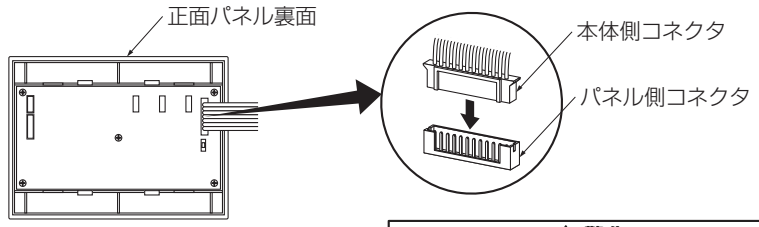
※スイッチボックス·M4サラネジは器具には付属していません。別途ご用意ください。



⚠ 警告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

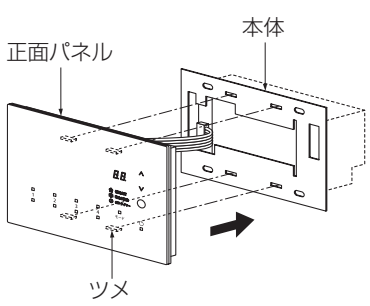
❻ コネクタを取付ける

●正面パネル裏面のパネル側コネクタに本体側コネクタを確実に取付けてください。



⚠ 警告
取付けが不完全な場合、焼損·不点·接触不良の原因となります。

❼ 正面パネルを取付ける



●正面パネルのツメを本体に合わせて、確実に取付けてください。

※正面パネルを取付ける際に、本体と正面パネルをつなぐ線を挟まないように注意してください。

⚠ 警告
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

施工手順(2/3)

❸ 電源線･負荷線を接続する

●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。

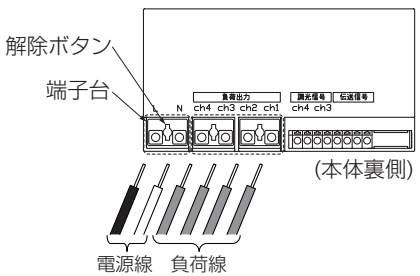
●端子台に奥まで確実に差し込んでください。

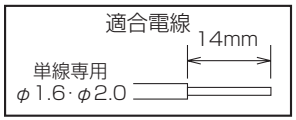
〈結線の際のご注意〉

※本器はニュートラル線が必要です。必ずニュートラル線を電源線のN側に接続してください。

※照明器具からのニュートラル線は外部で接続する必要があります。接続にはジョイントボックスを使用してください。(金属ボックス内で接続することはできません。)

※ニュートラル線は1ヶ所でまとめて接続してください。外来ノイズによるチラツキの原因となります。





⚠ 警告	
適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。	定格以外の電圧では使用しないでください。火災･感電の原因となります。

〈電源線･負荷線を取外す場合〉

●必ず電源を切ってから作業してください。

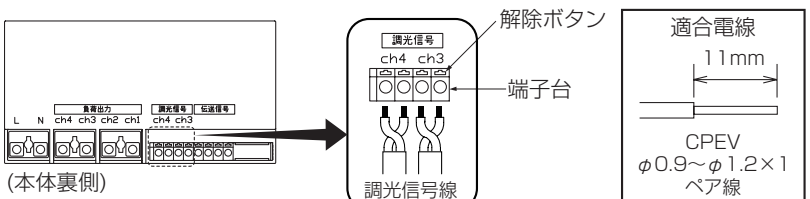
●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線･負荷線を引き抜いてください。

❹ 調光信号線を接続する

〈PWM 調光器具(Hf蛍光灯、シームレスランプ等)を使用する場合〉

●適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。

●端子台に奥まで確実に差し込んでください。



※調光信号に極性はありません。

〈調光信号線を取外す場合〉

●必ず電源を切ってから作業してください。

●ドライバー等で解除ボタンを押しながら、調光信号線を引き抜いてください。

適合負荷

●接続する負荷によって負荷設定をする必要があります。

●『負荷の設定について』P.10～P11を参照ください。

断熱施工なし

ランプ種類		1回路あたりの負荷容量	点灯モード
LED	LED器具(調光タイプ)	300VA	LED調光･ON/OFF
	LED器具(非調光タイプ)	300VA	ON－OFF
	DECO-L(調光タイプ)ランプ	4灯以上～300VA	LED調光･ON/OFF
	DECO-Sランプ	4灯以上～300VA	ON－OFF
	LED電球 DECO-Eランプ	10灯まで	ON－OFF
ハロゲン	白熱灯	300W	白熱灯調光･ON/OFF
	器具内蔵電子トランス(調光タイプ)	300W	白熱灯調光･ON/OFF
	別置電子トランス(調光タイプ)		
蛍光灯	蛍光灯器具	300VA	ON－OFF
	Hf調光･シームレス調光(PWM調光タイプ)	300VA(但し器具台数8台まで)	蛍光灯調光(PWM)
	バルックボール	10灯まで	ON－OFF
4回路合計最大負荷容量：750VA			

断熱施工あり

ランプ種類		1回路あたりの負荷容量	点灯モード
LED	LED器具(調光タイプ)	200VA	LED調光･ON/OFF
	LED器具(非調光タイプ)	200VA	ON－OFF
	DECO-L(調光タイプ)ランプ	4灯以上～200VA	LED調光･ON/OFF
	DECO-Sランプ	4灯以上～200VA	ON－OFF
	LED電球 DECO-Eランプ	6灯まで	ON－OFF
ハロゲン	白熱灯	200W	白熱灯調光･ON/OFF
	器具内蔵電子トランス(調光タイプ)	200W	白熱灯調光･ON/OFF
	別置電子トランス(調光タイプ)		
蛍光灯	蛍光灯器具	200VA	ON－OFF
	Hf調光･シームレス調光(PWM調光タイプ)	200VA(但し器具台数4台まで)	蛍光灯調光(PWM)
	バルックボール	6灯まで	ON－OFF
4回路合計最大接続負荷：400VA			

●リモコン照明器具、センサー機能付照明器具、調光機能付照明器具FANは接続できません。

●1回路には必ず同じ負荷を混荷させずに接続してください。

●他社製の蛍光灯、LED照明器具、電子トランスは接続できません。

●当社指定以外のLEDランプは接続できません。

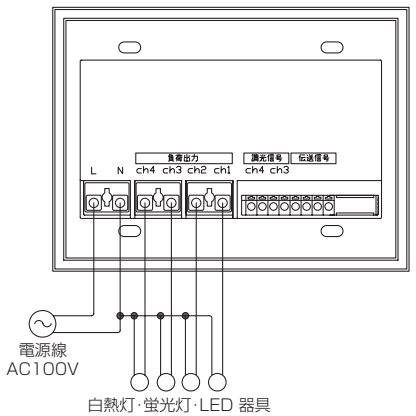
結線図

❶ LED調光の場合・・・・・LED調光

❷ 白熱灯調光の場合・・・・白熱灯調光

❸ ON-OFFの場合・・・・・LED、白熱灯、蛍光灯

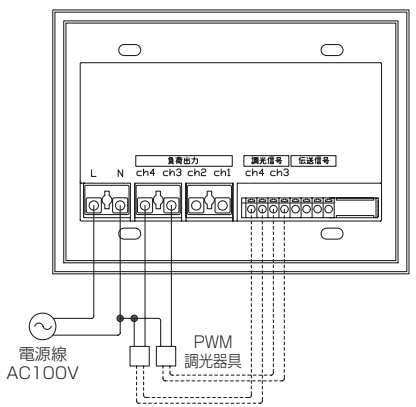
●電源及び負荷出力線にはφ1.6又はφ2.0の銅単線を使用してください。



❹ 蛍光灯調光(PWM)の場合・・・・蛍光灯(Hf調光、シームレス調光)

●電源及び負荷出力線にはφ1.6又はφ2.0の銅単線を使用してください。

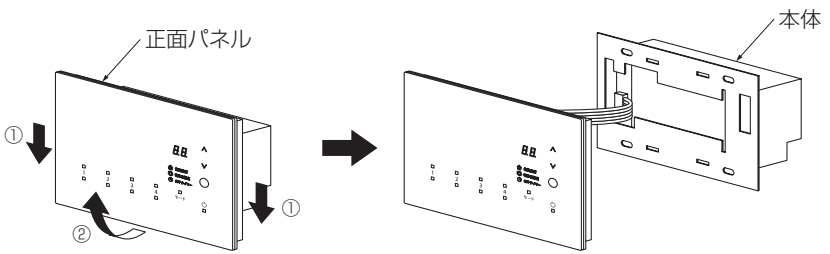
●調光信号線にはCPEVφ0.9～φ1.2×1ペア線を使用してください。



施工手順(1/3)

❶ 正面パネルを取外す

●正面パネルを少し押し下げ、正面パネルの下部を手前に引っ張り、本体から正面パネルを取外してください。



❷ コネクタを取外す

●正面パネル裏面のパネル側コネクタから本体側コネクタを取外してください。